

「11月号を読んで」

■経済成長と気候変動のことが大きく取り上げられますが、感染症についても関連性があると思います。日本は影響を受けにくいと思いましたが、新型インフルエンザの例からも他人事ではありませぬ。地球という枠組みで考えていく必要性をあらためて感じた今月号でした。

(兵庫県・50歳・男性・公務員)

■「死の海」と呼ばれるほど汚染の進んだ洞海湾の写真に、「本当にあの北九州の海なの!？」と我が目を疑ってしまいました。しかし今では、このひどい公害から立ち直った経験が、途上国の支援に活かされているといえます。北九州の方々の強さとたくましさ、そして優しさや温かさが感じられる素晴らしい記事だと思いました。(大分県・33歳・女性・司書)

「12月号を読んで」

■日本の省エネ技術の特集を、なるほど、と思いつつ読みました。これまで省エネとかエコとか言うけど、漠然とした興味を最近のエコブームが引っ張って行ってしまった印象がありました。日本の技術が途上国の経済成長の助けになることは、すばらしいことだと思います。こういう掘り下げた記事はぜひ続けて欲しいと思います。

(島根県・31歳・女性・会社員)

■地元のセカンドハンドの記事が入っていたので、特別支援学級の生徒に読み聞かせた。カンボジアの子供たちの明日の幸せのために小指会ががんばっている姿はそれだけで生徒を勇気づけたようだ。「幸せとは何か?」と記事中にあった。生徒に問うた。「家族といること」と答えてくれた。いつもの授業内容と違っていただけで、生徒とじかに語りあえた。「先生、私も人の役に立ちたい。」そんな目をしていて。さわやかな1時間だった。

(香川県・52歳・男性・中学校教員・工藤護)

本誌へのご意見・ご感想や
JICAへのご質問を
お寄せください。

プレゼント
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報は統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2010年3月15日

Email: jica@idj.co.jp

FAX: 03-3582-5745 (『JICA's World』編集部宛)

- ① ラオスの紙布織ランチョンマット
- ② 書籍『HIV／エイズとともに生きる子どもたち』(p30参照)
- ③ 書籍『国際協力と学校』(p30参照)



①



②



③

本誌をご希望の場合は
送料ご負担(200円)にて
お送りいたします。

申込方法

氏名・住所・電話番号・ご希望の号数もしくは送付期間を明記の上、下記にお申し込みください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 業務部(発送代行)
住所 〒107-0052 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル
TEL 03-3584-2191
FAX 03-3582-5745
Email order@idj.co.jp
支払方法 「ゆうメール」の着払いとなりますので、
本誌と引き替えに200円をお支払いください。



次号予告 (2010年3月1日発行予定)

アフリカの鼓動

今年はアフリカ独立の年から50周年!
50年の歩みとJICAの支援を振り返りつつ、
近年の開発課題や最新の取り組みについて紹介します。

JICA's World

FEBRUARY 2010 No.17

編集・発行/独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency: JICA

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル1~6階
TEL: 03-5226-9781 FAX: 03-5226-6396 URL: http://www.jica.go.jp/
本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。